



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3136 号 2016.7.18 発行

<変わる主婦の働き方> 「106万円の壁」Q&A 中日新聞 2016年7月18日

### パート主婦を悩ませる年収の「壁」

年収	説明
141万円	配偶者特別控除が受けられなくなる 
130万円	夫の扶養から外れ、国民年金と国民健康保険の保険料を納める（掛け持ちなどで130万円以上となるケース）
約106万円 (月収8.8万円)	10月からパート先の厚生年金と健康保険の保険料を納める
103万円	夫の税負担が軽くなる配偶者控除が受けられなくなり、夫の所得税が段階的に高くなる配偶者特別控除に切り替わる

10月からパート主婦らに適用が拡大される社会保険。月収8万8000円（年収約106万円）以上で、勤務先の従業員が501人以上などの条件を満たすと、パート先の厚生年金と健康保険に加入し、保険料を納めなくてはならなくなる。4日付生活面で制度を紹介したところ、読者から多くの疑問が寄せられた。今回は質問や悩みに回答する。

#### ◆給付カットの可能性

<Q1> 年金もらいながらパート。今後どうなる？

年金をもらいながらパート勤めをしています。10月からどうなるのでしょうか。＝三重県の女性（68）

年齢による加入対象は厚生年金が七十歳未満で、健康保険が七十五歳未満。六十八歳の女性を対象になります。そこで影響するのが働き方。収入に関係なく、週におおむね三十時間以上働けば、社会保険に入るのが原則。原則に当てはまらなくて

も、月収八万八千円以上などの条件を満たせば対象になります。年金受給者も適用されません。

ただ年金受給者が、厚生年金に加入して保険料を納めていると、年金が減額される「在職停止」に該当する可能性があります。減額の基準は六十五歳未満なら月収と厚生年金月額合計が二十八万円超、六十五歳以上なら四十七万円超。女性は四十七万円超で年金が減らされます。

厚生年金の加入期間が四十四年以上ある「長期加入者」は、六十五歳になる前に年金を月額十万円ほど多くもらえる特例がありますが、やはり厚生年金保険料を納めていると特例の対象外になります。

#### ◆妻の負担軽くなるケースも

<Q2> 夫は既に退職。10月から手取り減？

夫が既に定年退職しています。今の働き方を続け、十月から勤め先の社会保険に加入した場合、手取りが減るのでしょうか。＝愛知県のパート主婦（57）

夫がサラリーマンの主婦が新たに社会保険に入ると、保険料を支払わなければならなくなり手取りが減ります。しかし女性は負担が軽くなる可能性も。夫が六十代で定年退職しているため、夫婦で国民健康保険（国保）に加入し、女性は六十歳未満なので国民年金に加入しているためです。

国民年金の保険料が月額一万六千円ほどなのに対し、厚生年金の保険料は十月からの基準となる月収八万八千円で計算すると月額八千円ほど。パート収入が多くなれば厚生年金の保険料の方が安くなります。国民年金と違って、保険料を納めた分だけ年金に上乘せされるメリットもあります。

一方の国保。一人当たり平均月額七千円ほど（二〇一四年度）。パート先の健康保険に入れば月額約五千円（月収八万八千円で計算）と、こちらも安くなるかもしれません。

#### ◆年収計130万円以上なら注意

<Q3> 2社で勤務中。合算で加入義務？

2社で働いていますが、月収の合計が8万8000円を超えた場合に社会保険に加入するのでしょうか。＝愛知県の主婦

二カ所以上のパートを掛け持ちしていても、月収八万八千円以下の勤務先ばかりだと、加入の義務はありません。しかし一カ所でも超えていれば、その勤務先の厚生年金と健康保険に入ります。二カ所とも超えた場合は、月収の合計額に応じて保険料が算出されます。

ただ、各勤務先とも月収が八万八千円未満でも、年収が合計で百三十万円に達する人は注意が必要です。このケースでは、勤務先の厚生年金と健康保険ではなく、国民年金と国保に入ることになり、保険料負担が発生します。（諏訪慧）

### 見逃さないで！ あなたを襲う「キラーストレス」

産業医、日本ストレスチェック協会代表理事・武神健之 読売新聞 2016年07月15日

なんとなく心が塞ぐ、やる気が起きない、生きていても仕方がないとさえ思ってしまう……。こんな心の不調を引き起こすのが、長時間労働、人間関係、親の介護などさまざまなストレスだ。ストレスをうまくやり過ごせばいいが、今の世の中ではそれもなかなか難しい。そんなストレスとの上手な付き合い方について、現役産業医で年間1000人以上の健康相談に応じている武神健之さんに解説してもらった。

（写真はイメージ）

読者の皆さんは日ごろ、どんなストレスを感じていらっしゃるでしょうか？ 仕事上のこと、友人や近所との付き合い、はたまた家族のことで……。何にストレスを感じるかは人それぞれですが、今の世の中は、深刻な心の病を引き起こしかねないストレスがいたるところに蔓延しているのが現状です。



某大手企業の営業部に勤務する入社3年目のBさん（28歳）が私のもとへ相談に来ました（年齢は相談当時）。

私「こんにちは。どうされましたか？」

Bさん「……」

私「じゃあ、僕から聞かせてください。大抵、産業医面談に来られる方は、自分から相談したいことがあるか、上司や人事に言われてくるかですが、Bさんはどちらですか？」

Bさん「えーと、上司に産業医面談へ行くように言われました……。でも私、どこも悪くありませんよ」

私「上司は、Bさんのどういうところを見て勧めたのですか？」

Bさん「先週、定例のミーティングで、私が泣いたからだと思います」「チーム内で比べると、私の成績が振るわないのです。『指示したことができていない』『ぼーっとしていることが多い』などと言われ、反論できずに我慢していたら、涙が出てきてしまったのです」

2年前に営業部に異動したBさん。学生時代は成績優秀、周りからも評価されて育ちました。常に他人と比較される偏差値教育の中で、自分自身が“優秀な人間”であると感じていました。しかし、社会に出てみると勝手が違う……。優秀な人材が集まる会社では、できる社員がごまんという。

その中で、たとえ真ん中あたりにいたとしても、平均程度かそれ以下の評価にしかなら

ない。ついつい他人と比べてしまうのが、Bさんの悪い癖。ともに頑張っていた同期とボーナス額を比べたら、自分の方が少ないことにショックを受けました。その後、同期に負けないように頑張ろうと意識すればするほど振るわない。負のスパイラルに陥ってしまったのです。

Bさんは、他人と比べて仕事の成果が振るわないことに焦りや不安を強く感じ、そのストレスが「心の症状」となって表れたと考えられます。他人を意識しすぎる人に多い症状です。

## ストレスに対する3つの表現形式

### ストレス反応

「こころ」と「からだ」と「行動」に表れる

精神症状	身体症状	行動
<ul style="list-style-type: none"> <li>やる気が出ない</li> <li>何をするのもおっくう</li> <li>なんとなく気持ちが悪くなる</li> <li>集中力がない</li> <li>憂うつな気分</li> <li>イライラする</li> <li>興味や関心がわいてこない</li> <li>喪失感</li> <li>不安</li> <li>焦り感、あせり</li> <li>集中できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寝れない</li> <li>寝付けない</li> <li>夜中に目覚める</li> <li>早朝に目覚める</li> <li>食欲がない</li> <li>吐き気・嘔吐感</li> <li>胃痛・腹痛</li> <li>下痢・便秘</li> <li>顔面症状・微熱</li> <li>頭痛</li> <li>めまい・耳鳴り</li> <li>動悸</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲酒</li> <li>喫煙</li> <li>拒食・過食</li> <li>登校・出社拒否</li> <li>ひきこもり</li> <li>衝動買い</li> <li>遅刻・早退・欠勤</li> <li>時間外労働</li> <li>休日出勤</li> <li>会話・報告・相談\回</li> <li>結果・成果\回ミス\回</li> <li>部屋の乱れ、不潔</li> </ul>

ストレス反応の表れ方は“十人十色”

ストレスの表れ方（表現形式）には、精神症状、身体症状、行動の三つがあります（筆者提供）

ストレスが“ある許容範囲”を超えると、その反応は「心」か「体」か「行動」のいずれかに表れます。この三つの中で、Bさんのように「心の症状（精神症状）」に表れた場合は、注意が必要です。治療開始が遅れ、正常な社会生活に支障が出る

ばかりでなく、生命に危険が及ぶ場合もあるからです。

また、どのようなストレスが原因でストレス反応が表れるかは、“十人十色”といえます。Bさんのように「仕事の結果が出ない」「仕事で昇進できない」ことにストレスを感じる人もいれば、それとは真逆で、「昇進した」ことがプレッシャーとなりストレスを感じてしまう人もいます。上司からの指導を“ストレス”と感じる人もいれば、“激励”や“応援”と捉える人もいます。ストレスには、「いいストレス」も「悪いストレス」もありません。本人の「感じ方次第」といえるのです。

### 強いストレスが私たちの生命を脅かす

いざストレスが「心の症状（精神症状）」となって表れると、Bさんのように泣くことのほかに、やる気が出ない、何をするのも億劫になる、なんとなく気持ちが沈む、イライラする、憂鬱な気分になる、喪失感や不安、あせりを感じる、集中力が低下するという症状が表れることもあります。そして、このようなストレスを受け続けると、その症状は時間とともにさらに悪化していくのです。

最近の研究によると、ストレスを受け続けると、私たちの生命を脅かす危険性があることも明らかになっています。いわゆる「キラーストレス」と呼ばれるものです。知らず知らずのうちに心を蝕み、心や体のバランスを司っている脳の働きを損なわせ、死に至らしめるケースもあるといえます。

### 絶対に認めたくないという気持ちが

Bさんは、泣いているときに、『メンタルっぽいから精神科へ行くように』と上司に言われ、一旦は『メンタルではない』と断ったものの押し切られて来たそうです。私は、上司に強く背中を押されたことは、Bさんにとって不幸中の幸いだったと考えます。

なぜそう考えるかという点、「心の症状」は「体」や「行動」に表れる症状に比べて見逃されやすいという特徴があるからです。

見逃されやすい理由は、三つあります。

一つ目は、「心の症状は、目に見えない」ということです。心は、当たり前ですが目で見

ることができません。そして心は常に揺れ動くものなので、異常が発生しても気づくことが難しいのです。

二つ目は、心の症状は、「ある日突然、始まるわけではない」ということです。イライラしても自然と収まっていた（そのときは病気とは思わない）ものが、徐々に收拾がつかなくなり、気づいたら取り返しがつかない症状になっていた、というケースが多いのです。

そして三つ目にして最大の理由は、「自分の症状を、『精神的なストレスのため』と認めたくない」という気持ちが働くことです。

この「認めたくない」という気持ちは、有名企業の優秀な社員ほど強いように感じます。「この自分が.....」「まさか.....」「そんなはずはない」「あつていいわけがない！」という人のなんと多いことか。特に、上司や人事担当者に指摘された時は、「絶対にその事実を認めてなるものか」と強硬な態度をとる傾向が強いようです。背景には、「今後の自分の評価」や「自身の進退問題」に対する不安が、脳裏に襲いかかっていることがあると思います。

このようなことから、心の症状は、悪化しがちなのです。

Bさんの場合も、もし面談に来るタイミングが遅くなっていたら、心はさらに蝕まれ、症状が悪化していたと思います。そして、仕事がつらくなり、一時離脱を余儀なくする状況も想定されます。場合によっては、症状が手におえなくなるばかりか、生命に危険が及ぶことも.....。これがまさに、キラーストレスという名前の所以だと思えます。

### 人ごととはいえない現実

#### 私たちの身にも迫る（写真はイメージ）

心のストレスが要注意であることを理解していただけと思いますが、これは読者の皆さんにとっても人ごととはいえません。実は、同じような危険が皆さんにも迫っているのです。

6月24日に厚生労働省から発表された2015年度（平成27）の「過労死等の労災補償状況」によると、働き過ぎや上司らとのトラブルが原因でうつ病などの精神疾患にかかり、15年度に労災申請した人は前年度比59人増の1515人に上りました。これは、1983年（昭和58）の調査開始以降で過去最多です。今後もこの傾向は続く可能性が高いと思います。

私は産業医の仕事を通して、現在のビジネスマンに二つのストレスが襲いかかっていると感じています。

一つは、中高年管理職への“頑張るストレス”です。最近の中高年管理職の方は、管理職としてチームをまとめるだけでなく、現場の最前線でプレーヤーとしての結果も求められています。そんな方々の心に降りかかる「もっと頑張らなくちゃ」というストレスです。

もう一つは、若い世代への“我慢のストレス”です。「出世する同期」や「転職して、さらに輝きを増していく同期」、そんな仲間たちの活躍する姿を見て、それを自分と比較することで感じるストレスです。

現代のビジネスマンは、このようなストレスが果てしなく続く状況下で、うまく気分転換ができずに、うつ病などの精神疾患に蝕まれているのです。

### すべてのものを一旦、区切ってみる

#### 趣味を大切にストレス発散（写真はイメージ）

このようなストレスを上手に解消するには、どうしたらよいのでしょうか？

私が勧めたいのは、「区切る」ということです。「区切る」べきは、時間であり、空間であり、人間関係です。

世の中のストレスは、必ずしも対処可能なものばかりではありません。未来への不安、どうしようもないシチュエーションと人間関係.....。そんなものに囚われたときは、無理に対処しようと試みてもどうにもなりません。意固地にならずに、一旦、その時間やその場所から離れてみるの



です。

不安はそもそも、未来における漠然とした気持ちからくるものです。未来のことを忘れ、今この時間の、自分自身の存在に目を向けることで、未来への不安から自分の脳を解き放つことができるのです。

Bさんにも、運動や趣味、好きなことをする時間を設けて、自分自身に目を向ける。他人のことは考えない。会社のことも忘れる。そして、自分自身の「絶対的な軸（存在価値）」をしっかり持ってほしいと伝えました。

幸いなことに、Bさんは休職することなく経過し快方に向かっています。

心のストレスが原因で生活や仕事に支障が出る、生命が危険にさらされる。そんなつまらない人生を送っても仕方ありません。自分の命は自分で守り、充実した楽しい人生を送っていただくためにも、心のストレスを上手に解消してほしいと思います。

### 相撲、超人スポーツ、能… 五輪に向け文化イベント オリパラ開催ムード盛り上げへ日本



文化など紹介 日本経済新聞 2016年7月18日  
超人スポーツ協会はモーター付きの小型タイヤを手綱で操る「キャリオット」などを普及させ、新しいスポーツを世界に発信する（写真提供：超人スポーツ協会）

2020年東京五輪・パラリンピックの開催機運を高めようと、8月から全国各地で趣向を凝らした文化イベントが相次いで開かれる。相撲を訪日観光客らに紹介する文化交流イベント、障害者アーティストによる舞踊、ハイテク機器を活用した新しい競技を提唱する「超人スポーツ」大会など8つのプロジ

ェクトが動き出す。東京大会では日本の文化を世界に発信することや、同時にダイバーシティ（多様性）を尊重する社会づくりが大きな目標にもなっており、イベント開催によって機運を盛り上げる。

「バブルジャンパー」は新感覚の格闘技として体験者に人気がある。（写真提供：超人スポーツ協会）

日本相撲協会は10月、外国人向けに1日限定の特設イベント「大相撲 beyond 2020 場所」を都内で開く。スポーツとしてよりも、大相撲の日本文化としての側面を強調し、伝統国技で「升席を外国人客で埋め尽くす」（同協会）ことまで狙う。英語を話せる和服のスタッフが大いちょうの結び方などを解説し、大相撲や日本文化への理解を深めてもらう。詳細は未定だが、訪日客にも「初っ切り」や「相撲甚句」なども楽しんでもらえるかもしれない。

これと並行して、障害者向けの観戦体制も見直す。四方を囲まれた升席は障害者には座りにくいほか、案内方法もバリアフリーが整えられているとは言いがたかった。障害者が観戦しやすいように実証データも整備するという。

障害者のハンディキャップをカバーする研究が、人間の身体能力の拡張にまで発展した「超人スポーツゲームズ」というイベントもある。モーター付きの小型タイヤを手綱で操る「キャリオット」、バブル（泡）をイメージした球体に身を包み、跳躍力を高めたジャンピングシューズを履いて、ぶつかり合いながら相手を倒す「バブルジャンパー」といった新しいスポーツ競技会を開催。いずれも障害者のサポート技術から発展したゲームで、体験イベントには、運動が苦手な子供、高齢者、障害者ら幅広い層の参加を見込んでいる。11月に東京や神奈川ではトーナメント形式の試合も予定する。

東京大学の稲見昌彦教授らが結成した超人スポーツ協会は「人間拡張工学」の研究成果



を活用した義足や車いすなどを提供。運動能力の向上を進めた結果、障害の有無に関係なく楽しめるスポーツ文化の創造を目指している。

障害者芸術の分野では舞台芸術のプログラムなどが選ばれた。2015年秋の「スロームーブメント青山公演」(写真提供：スローレーベル)

障害者芸術の普及を目指すイベントもある。8～12月に東京、神奈川、大阪の3カ所で車いすのダンサーらが踊るパフォーマンスや、障害者の舞踊などに関するワークショップなども予定している。障害者アーティストを育成し、12月には東京・豊洲で発表会も開く。

障害者の社会参加などに取り組むNPO法人のスローレーベル(横浜市)などが芸術作品の発表会などを予定している。このほか鳥取県は10月に「障がい者アートフェスタ2016」を開催する。

一連のプロジェクトは8～12月に各地で開催。実施団体には、政府から1000万円を上限に委託費が支払われる。各プロジェクトは東京大会までの実施計画や20年以降の取り組みを政府に提案。政府は今後もプロジェクトを増やす方針で、全国で約30件にしたい考えだ。



## トビウオパラジャパン、リオへ。ジャパンパラ水泳競技大会&壮行会 in 横浜



初めて。

女子100メートル平泳ぎS10、リオパラリンピック日本代表池愛里(峰村PSS東京)この日6レースに出場した。写真・西川隼矢

今回の大会はリオパラリンピックまでの最後のジャパンパラ水泳競技大会ということもあり、19名のリオパラリンピック日本代表も一堂に会したが、それぞれに明暗が分かれる結果となった。

100メートル平泳ぎ後のインタビューでの木村敬一(東京ガス) 写真・佐々木延江

100メートル平泳ぎでは、リオパラリンピックで金メダル獲得が有力視されている木村敬一(東京ガス)が、視覚障害者のSB11クラスに出場した。木村はスタート直後から徐々にコースを外れ、最終的に2つ隣のレーンに入ってしまったため失格となり、会場が騒然とした。レース後木村は「最初の飛び込みで失敗し、その後立て直すことができなかった。今回は運が悪かったと思い、気持ちを切り替えていきたい」と悔しさを見せた。競技後に

by 細川高頌 パラフォト2016年7月18日  
1日目の競技終了後に開催された、日本代表「トビウオパラジャパン」の壮行会 写真・佐々木延江

7月17日と18日、ジャパンパラ水泳競技大会が横浜国際プールで開催されている。初日の17日は、50メートル自由形、平泳ぎ、100メートル平泳ぎ、200メートル個人メドレーなどの種目が、男女それぞれで行われた。横浜での開催は



行われた壮行会で、「リオでは金メダルを目指してまっすぐ泳いで帰ってきたい」と話し、会場を沸かせた。

木村のコーチを務める野口智博は試合後自身の Facebook で、木村がレーンに入った二人の選手に謝罪をした上で、「明日は、木村はきっとスタートを怖がるでしょう。この怖さ、今晚一晩で乗り越えられるわけありません。それを前提に、どこまで出せるか？どう気持ちを切り替えるかということ念頭に置いて、明日の準備をします」と、今回の失敗が今後のレースに与える影響に懸念を示した。



50メートル自由形と200メートル個人メドレーに出場した一ノ瀬メイ（近畿大学）は、レース後の取材に悔し涙を流した。「正直、気持ちあまり入っていなかった。リオに向けてレベルを上げていかなければと焦ってしまい、本来であればジャパンパラは調整の時期で、練習量を落とさなければいけないのに、焦りから練習量を落とせなかったことが今回につながった」とレースを振り返った。

一ノ瀬メイ（近畿大学）200

メートル個人メドレー 写真・西川隼矢

一方、50メートル自由形と100メートル平泳ぎ、200メートル個人メドレーに出場した池愛里（峰村 PSS 東京）は、100メートルで大会記録、200メートル個人メドレーで大会新記録、日本新記録を更新。「出場レースが多かったが、その中でも自己新記録を出せたのがよかった。課題は後半にスピードが落ちてしまうことなので、しっかりと練習していきたい。明日は自分の全力を出し切るつもりなので、どのようなタイムができるか楽しみ」とレース後のインタビューでは笑顔を見せた。

100メートル平泳ぎ前の池愛里（峰村 PSS 東京） 写真 西川隼矢

リオパラリンピック水泳で日本代表のキャプテンに指名されている山田拓朗（NTT ドコモ）は、50メートル自由形で大会新記録を更新した。壮行会では選手代表として、「世界のレベルはどんどん上がっているの、厳しい戦いになると思うが、チーム一丸となって頑張っていきたい」とスピーチした。

リオ代表以外の選手も活躍

今回の大会では、代表以外の選手の活躍も目立った。

400メートル自由形 S13（視覚障害）で富田宇宙（EYA）がアジア記録を更新した。

200メートル個人メドレー S14（知的障害）で東海林大（山形 DC）は、リオパラリンピック日本代表の中島啓智（花見川スイミングクラブ）、津川拓也（ANA ウィングフェローズ・ヴィ王子）を抑えて首位でフィニッシュ。日本記録を更新した。

200メートル個人メドレー（クラス SM14/知的障害）に出場した東海林大（山形 DC） 写真・佐々木延江

「とにかく優勝したかったので、全力で頑張った。3月の選考会では標準記録に届かず悔しい思いをしたので、挽回できて嬉しい。2018年のアジア大会、東京パラリンピックを目指してこれからも練習していきたい」と、東海林。2020年に向けて意欲を見せた。

大会2日目の18日は、200メートル自由形、100メートル背泳ぎ、50メートルバタフライなどの種目が行われる予定。（編集サポート・佐々木延江、石野恵子）



## 経済困窮で治療中断 千葉県内医師ら 4割強回答 窓口負担引き上げに懸念

千葉日報 2016年07月18日

千葉県保険医協会が県内の医師と歯科医師に対し行ったアンケートで、44%が「患者の経済的理由で治療がストップした事例があった」と回答した。後期高齢者（75歳以上）の窓口負担を1割から2割に値上げする議論が進む中、負担が上がった場合、医師・歯科医師とも7割弱が「受診抑制につながる」と回答した。

調査は昨年12月からことし2月にかけて、協会会員である医師1891人、歯科医師2099人を対象に実施。うち医師247人（13%）、歯科医師257人（12%）の計504人から回答を得た。「この半年間、主に経済的理由と思われる治療中断事例があったか」との質問に、医師の36・8%、歯科医師の50・2%が「あった」と回答。さらに医師の49・4%、歯科医師の37%が「医療費負担を理由に検査や投薬を断られた」と回答した。医師の46・6%、歯科医師の35・8%は「医療費の未収金がある」という。

救急搬送患者の未収金を補てんする制度がある県によると、昨年度の補てん件数は日本人38件（201万円）、外国人3件（59万円）。県医療整備課によると「救急搬送以外の未収金は分からない。これらは氷山の一角ではないか」としている。

また、社会保障費の抑制に向け、国が検討する後期高齢者の窓口負担引き上げについては、1割から2割に増加した場合、医師の66・4%、歯科医師の68・5%が「受診抑制につながる」と回答した。

理由については「収入が年金のみの高齢者は医療費を払えなくなる」、「重症化するまで受診に来ず（結果的に）医療費が増えるのでは」との声があった一方、「将来（の社会保障）を考えると必要不可欠」とする意見もあった。

## 自由な発想 作品見て 障害者が織物など展示

中日新聞 2016年7月18日

色鮮やかな作品や商品が並ぶ会場＝金沢市三小牛町で



知的障害などの人たちが表情豊かに制作した織物や絵の展示会が十七日、金沢市三小牛町の「ぼれぼれ工房山の家」で始まった。バッグやキーホルダー、クッキーなどの販売もしている。十八日まで。

市内のNPO法人「地域支援センターポレポレ」が二〇〇九年から毎年開いている作品展で、山の家での開催は初年以來。金沢、野々市、内灘から通う利用者二十二人が出品した。

木枠の中にさまざまな色の糸を織った作品は、織り方が途中から奔放になり、織るというより糸を詰め込んだようになっていくのが面白い。糸を織りながら、合間に思い付いた言葉を紙に書いて織り込んだ作品も。「7:59 かぜぎみ」などの言葉が躍る紙と織物が妙に調和している。

段ボールをキャンバスに、絵の具をへらでエネルギーに塗り付けた抽象画、チラシを細かく切って丸め、一つ一つを「髪」に見立て作ったパンチパーマのようなカツラも。電車の路線図などのイラストを描いた皿の数々にも、自由な発想がちりばめられている。

利用者が日ごろ工房で作っている藍染めの手ぬぐいやハンカチ、利用者のイラストを使ったバッグをはじめとする商品も並べた。

スタッフの菊義典さん（40）は「見て楽しんでもらい、制作の経緯の物語もスタッフに聞いてもらえたら」と話していた。問い合わせは、同工房＝電076（287）3414＝へ。（日下部弘太）

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も  
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行

